

設 立 趣 旨 書

1 趣 旨

現代社会において、ボランティア活動は地域課題の解決や市民同士の連携を促進する重要な役割を担っています。しかしながら、多くの中小規模のNPOや学生団体にとっては、ボランティア募集にかかるコスト（チラシ掲載費や有料ウェブサイト利用料等）が大きな負担となり、結果として多様なボランティア機会が埋もれてしまう現状があります。一方、ボランティアへ参加を希望する個人にとっても、「どこにどんな募集があるのか」が一元化されておらず、情報が分散・断片的であることから、参加のハードルが高い状況が続いています。

そこで私たちは、スマートフォンアプリ「ボランチア」を開発し、①ボランティア募集情報の無償提供・マッチング支援、および ②学生団体や小規模団体を含めたあらゆる組織への低価格・条件付き無料支援サービスを通じて、全国の市民が気軽にボランティア活動にアクセスできるプラットフォームを構築しました。本アプリでは、15名以内の参加募集であれば完全無料で掲載できる仕組みを導入し、さらに申請に基づき経済的に困難な団体には採用人数にかかわらず無償で利用支援を行うことで、真に公益性の高い取り組みを実現しています。

これにより、単なる情報提供にとどまらず、ボランティア文化の普及促進、地域コミュニティの活性化、市民福祉の向上を同時に図ることを目指します。特に地方都市（福岡市を中心に）においては、若者や学生が地域貢献の第一歩を踏み出す機会を喚起し、次世代リーダー育成や地域課題解決の裾野を広げることが可能です。今後は、全国的・国際的なネットワークとも連携しながら、ボランティア参加率の向上および持続的な地域振興を促進します。

2 申請に至るまでの経過

1. 個人運営による構想と実証（2023年8月～2024年3月）

- 2023年8月、創業者（藤松拓実）が「学生団体や小規模NPOがボランティア募集を手軽に行えない」という課題に気づき、無料の掲示版ツールを用いた情報発信を開始。
- 福岡市内の大学生グループや地域団体にヒアリングを行い、募集コストや情報拡散手法に関する実態を調査。

- 2023 年 10 月に試験版ウェブサイトリリースし、延べ 50 団体・200 名超のユーザーからフィードバックを収集。
- 2. スマートフォンアプリ「ボランティア」開発・運用開始（2024 年 4 月～2024 年 12 月）
 - 2024 年 4 月、本格的なアプリ開発を開始。Expo（React Native）と Firebase を活用し、ユーザー登録・募集投稿・メッセージ機能を実装。
- 3. 利用拡大と事業モデルの検証（2025 年 1 月～2025 年 5 月）
 - 利用実績を踏まえ、「15 名以内の参加募集は無料」「15 名以上は有料（最小額設定）」という段階的なマネタイズモデルを策定。
 - 2025 年 5 月時点で、累計ユーザー数は延べ 500 名を突破。
- 4. 設立目的の明確化と NPO 法人化の検討（2025 年 5 月～2025 年 6 月）
 - 上記の運用実績を踏まえ、さらなる公益性の担保と資金調達、広域展開を視野に入れて法人格取得の必要性を実感。
 - 2025 年 7 月下旬、創業メンバー 5 名が集まり、NPO 法人化に向けた準備委員会を設置。
 - 2025 年 8 月初旬には、設立趣旨書・事業計画書・予算書等を策定し、所轄庁（福岡県）へ提出する準備を完了。

以上の経過を経て、地域社会にとって不可欠な「ボランティア参加のハードルを下げるプラットフォーム」を持続的に運営するため、ここに NPO 法人としての認証申請を行う次第です。

2025 年 8 月 14 日

NPO 法人ボランティア

設立代表者 住所又は居所

氏名 藤松 拓実